

◇ 令和5年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「大路」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	31,761,481円		33,655,695円	コロナ補助費で今後も充実した保育を行える備品を購入することが出来た。	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指したい。
施設HPアドレス	https://minnanoie.roukyou.gr.jp		2年目	35,137,666円		37,405,059円	ICT費を活用しネット開通、児童入退管理システムの導入等今の時代に即した環境を整えられた。	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指す。
指定管理者名	労協センター事業団		3年目	37,688,206円		41,710,050円	ICT費を活用し児童入退システムやICT関連業務を充実、コロナ費を活用しコロナ禍での保育を充実させることができた。	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指す。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	35,122,385円		38,743,629円	コロナ禍での制限が緩んだこともあり、指定管理料内で可能な限り行事等を充実させることができた。	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指す。
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日		5年目					

●総合評価の基準			○その他の項目	
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である	公募・非公募の別	公募
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である	使用料・利用料金制の別	使用料
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である	指定管理者による運営開始日	平成21年4月1日
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である	施設の供用開始日	平成20年度
1	☆	評価基準に☆が1以上ある	指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和5年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 前年度の管理・運営の継続のほかに改善も含めて、学童を取り巻く地域の特色や時世の変化にも目を向け、対応ができるように工夫も図っていく。コロナ禍以前の生活に戻りつつある中で、子どもを中心に置いてまちづくりをし、利用者や地域との協同をすすめる。子どもや保護者をありのまま受け止めて、安心安全に過ごせる場所・体験を通して一人一人成長できる場所を構築する。地域に見える、安心して利用できる管理・運営に努める。またICTを活用して子どもの入退室の管理や保護者へのお知らせなど円滑に進められるようにする。		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) 概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) マスクの制限もなくなり、コロナ禍以前の生活に戻りつつある中で保育であった。昨年は急遽中止になった遠足であったが今年度は無事に開催することが出来た。遠足当日は事故渋滞のため帰りの到着が大幅に遅れたが児童入退管理システムにて帰りの状況を一斉送信することが出来たので到着について大きな混乱なく保護者の方に引き渡すことが出来た。また、今年は保護者の方に参加してもらう行事を昨年より行うことが出来た。夏休みには保護者の方に来ていただき発表会(子どもたちの得意なことを発表してもらう)を行った。部屋に入りきれないくらいの保護者の方に来ていただき、大盛況に終わった。秋には保護者交流会で墨流し染体験(外部講師の方に来ていただいた)とボードゲーム大会(子どもたちが普段遊んでいるゲームの体験)を行った。ボードゲームは子どもと保護者と支援員が一緒になって楽しんでもらうことが出来た。普段の保育は児童入退管理システムを使用し子どもの欠席管理やお知らせなど細かな連絡を紙媒体より円滑な情報共有を行うことが出来た。		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)			
評価項目 1		指定管理者の自己評価	
	上半期評価	世間的にもコロナ禍が明け、出来るようになるようになった分行事の準備など職員の負担も増えたが職員のサポートなど心身の健康維持・管理に徹底した。出勤が少ない職員にも情報が共有しやすくなるよう個人情報に含まないものはSNSで共有、個人情報を含むものは紙ベース、または日誌、口頭等で現場内のみで共有するなど必要に応じて使い分け保育の情報を共有した。	市(施設所管課)の評価
	☆☆☆☆		上半期評価
	下半期評価	上半期に引き続き情報共有を徹底した。市や県の研修に参加しそれぞれが自己研鑽に励んだ。常に定員上限以上の弾力運用を活用した利用があった。	☆☆☆☆
	☆☆☆☆		下半期評価
			☆☆☆☆

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)			
評価項目 2		指定管理者の自己評価	
	上半期評価	コロナ禍が明け、健康には気をつけながら行事を行った。遠足にも行くことができ、保護者の方に来ていただいたの夏休み発表会を行うことが出来た。久しぶりの大規模な行事であったが、児童入退管理システムを活用し円滑な連絡を行うことで遠足の事故渋滞による到着遅れというイレギュラー対応にも混乱なく対応することが出来た。個人情報を含む書類等は書庫に施錠をし管理を徹底した。	市(施設所管課)の評価
	☆☆☆☆		上半期評価
	下半期評価	大規模な保護者交流会を行うことが出来た。個人情報を含む書類等は書庫に施錠をし管理を徹底した。	☆☆☆☆
	☆☆☆☆		下半期評価
			☆☆☆☆

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)			
評価項目 3		指定管理者の自己評価	
	上半期評価	一昨年導入した児童入退管理システムを活用し、保護者とのやりとりが円滑に行えた。お知らせも紙媒体の時に比べ必要な時にすることが出来、欠席が続いていても伝わるのでより円滑に保護者に情報が伝えることが出来ている。また参加申し込みなども児童入退管理システムのアプリアで行えるので保護者の方も好きな時間等を利用して提出しやす思う。より支援の必要がある子どもなど必要に応じて、保護者・児童と話し合うなど、それに加え専門機関・学校と連携・面談を行った。	市(施設所管課)の評価
	☆☆☆☆		上半期評価
	下半期評価	保護者アンケートを実施。結果は改善策を盛り込み回答のお便りとして配布。より支援の必要がある子どもなど必要に応じて専門機関・学校と連携・面談を行い保護者との相互理解に努めた。また民設学童(他事業者)に行く子どもの対応として大路での様子を見に来ていただいたり、保護者とも話すようにして不安軽減に努めた。	☆☆☆☆
	☆☆☆☆		下半期評価
			☆☆☆☆

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)			
評価項目 4		指定管理者の自己評価	
	上半期評価	毎日の日常設備点検、消防署立入など法定点検を行なった。怪我未然防止の為に、児童・職員の常時声掛けをはじめ安全な動線の確保、危険予知が出来るように務めた。	市(施設所管課)の評価
	☆☆☆☆		上半期評価
	下半期評価	毎日の日常設備点検、設備点検、消防署立入など法定点検を行なった。点検記録簿などの管理、改善策の為に備えた。判断ミス・怪我未然防止の為に、児童・職員への指導において安全な動線の確保・維持、危険予知が出来るように務めた。ワックスがけも行い施設も維持保全に努めた。	☆☆☆☆
	☆☆☆☆		下半期評価
			☆☆☆☆